

◇施設概要◇

構造・階 鉄筋コンクリート造・3階建
延床面積 971㎡
工期 平成25年12月～平成26年7月
総工費 2億7千万円

設計 本建物は、昭和50年建設され塩害により老朽化した旧管理棟の改築整備である。新たに建設された新管理棟は、研究、交流、宿泊を1つの建物の中で行えるコンパクトな施設とした。

省エネ対策としてセンサー制御によるLED照明を多用している他、空調設備は高効率インバーターものを個別に設置している。

台風対策として停電時に照明・コンセント等の一部を自家発電機から給電可能としており、換気設備はチャッキダンパー等の逆流防止機能を備える。

諸室 学生実習室・講義室
多目的室・食堂
事務室・所長室(応接室)
学生研究室(宿泊室)×8
研究者研究室(宿泊室)×6
シャワー室、洗面・洗濯機室(男・女)

主な仕上 《外装》壁：複層塗材 屋根：速乾性ウレタン防水
《内装》床：ビニル床シート 壁：合成エマルジョンペイント
天井：ロックウール化粧吸音板張

設備 入退館電気錠システム
LED照明器具(人感・星光センサー制御)
空調集中管理コントローラー
(発停・温度調整・スケジュール管理)
全熱交換機型換気扇(台風対策仕様)
海水設備
オストメイト対応多目的トイレ
エレベーター(11人乗)

基本設計 琉球大学施設運営部
実施設計 建築・設備：(株)泉設計
施工 建築：(株)屋部土建
電気：三協電設(株)
設備：和高建設工業(株)

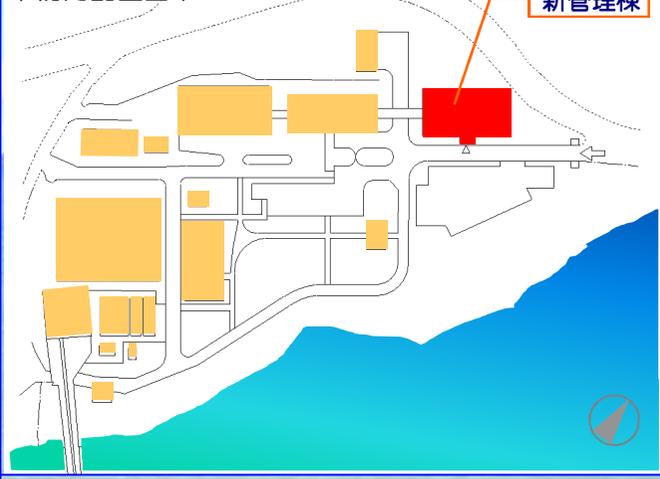
◇所在地◇



琉球大学熱帯生物圏研究センター
瀬底研究施設
(国頭郡本部町瀬底3422番地)

◇本島地図◇

◇構内配置図◇



熱帯生物圏研究センター 瀬底研究施設・新管理棟



◇問い合わせ・連絡先◇
施設運営部 計画整備課 (内線8074)

琉球大学

瀬底研究施設・新管理棟

(熱帯生物圏研究センター)

～ 沖縄独自の研究・その新たな拠点として～

熱帯生物圏研究センターでは主にサンゴ礁やマングローブに生息する動植物の研究を行っています。

中でも瀬底研究施設はサンゴ礁研究の世界的な拠点となっており、夜間に産卵するサンゴの研究を進めるため、昼夜を問わず24時間観察できる施設整備が不可欠となります。

現在、瀬底研究施設には国内外から年間8千人を超える利用者が訪れ、研究活動を行っています。



建物南側：サンゴの海を眺望する



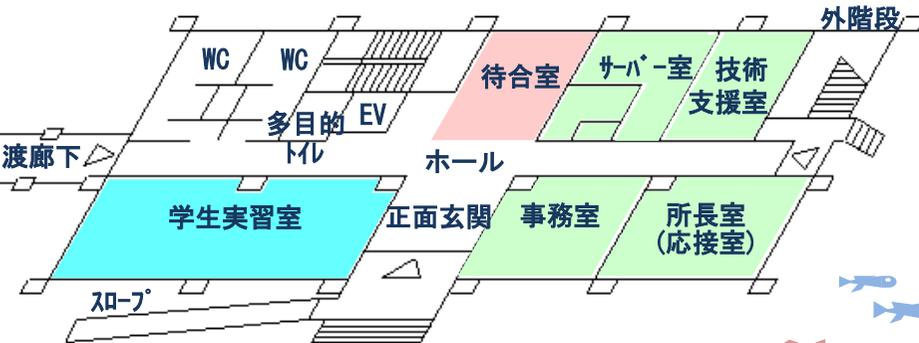
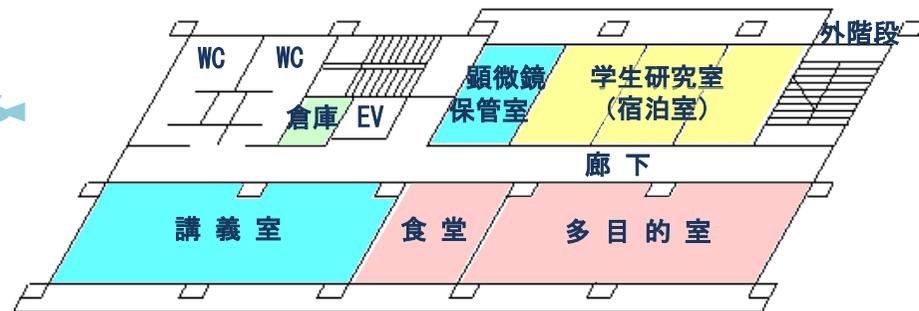
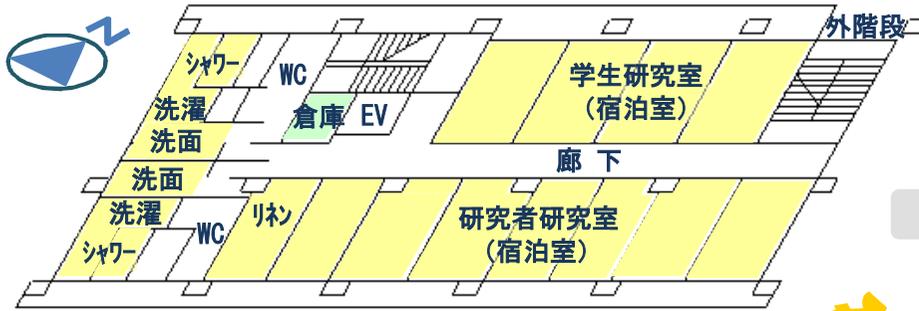
2階講義室



1階学生実習室



建物西側：渡廊下で既設建物と繋がる



施設を構成するエリア

《宿泊エリア》



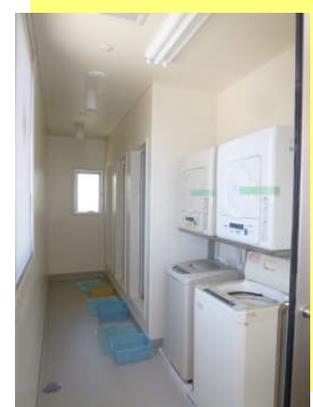
《交流エリア》



《研究エリア》



《事務管理エリア》



シャワー&洗濯場



学生研究室(宿泊室)



研究者研究室(宿泊室)

